

SAFARIと米国装置によるサイエンス

- 「中間赤外線分光による銀河形成研究」 山田 亨 (東北大学)
 - Q. SAFARIは広範囲サーベイすべし?
 - A. 分かっている領域を系統的にサーベイする戦略が良いだろう
 - C. アバンドランスの影響を受けないライン比を考えるべき
 - C. ハードネスを探るにはNeのラインが最適
 - Q. アメリカ装置の分光時のコンフュージョンは?
 - A. イメージングにおけるコンフュージョンリミットなので分光はできる
 - C. いわゆるコンフュージョンリミットの1桁下まで3次元分光可能
- 「SPICAとALMAで探る銀河の形成と進化」 河野孝太郎 (東京大学)
 - Q. 地上の電波観測なぜ赤方偏移のIDがなぜ難しいか?
 - A. 感度が足りない、ラインなので光子が少ない。励起度が低くそれほどラインがない。
 - C. SAFARIはすごい。2分×2分を面分光するIFU
 - C. 水素分子のラインはSPICA特有では?いくらzが大きくなってもALMAに入っていない

SAFARIと米国装置によるサイエンス

- 「晩期型星にまつわるSPICAサイエンス」 植田稔也(デンバー大学)
 - Q. ダイナミックレンジはどれくらい必要?
 - A. 広がっているのでダイナミックレンジは気にしなくていい。場所を選べば背景も気にならない。
 - Q. PACS等も面分光できるのでアドバンテージは?
 - A. 感度
 - Q. R=4000でラインを見るというのは?
 - A. 面白そうだと思うが勉強中
 - Q. AKARIの結果では何が光ってる?
 - A. あったかいダストでラインではない